

さんかく情報局

～リプロダクティブ・ヘルス／ライツとは～ vol.28

男女がお互いの健康や人権を尊重し、正しく性の知識を得ることが今後の社会に必要です。

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康と権利)

すべてのカップルと個人が、自分たちの子どもの数、出産間隔や出産する時を、責任を持って自由に決定でき、そのための必要な知識や情報、手段を得ることができる権利



生涯にわたる女性の健康問題

女性には、身体に妊娠や出産のための仕組みが備わっており、男性とは異なる健康上の多くの問題に直面します。

初経・月経のトラブル、避妊・妊娠・不妊、性感染症、婦人科的疾患である子宮内膜症・子宮筋腫・子宮がん・乳がん、更年期障害などさまざまな問題が発生します。

また、望まない妊娠による人工妊娠中絶は女性の心身に大きな影響を及ぼします。

このように、女性には思春期、妊娠・出産期、更年期、高

正しい認識を深めよう

これまで日本では、女性が年齢など、人生のそれぞれの段階において、健康上の問題が生じます。

これまで日本では、女性が男性よりも劣悪な環境に置かれることが多く、こうした女性特有の健康問題への配慮が欠けていました。

また、差別、強制、暴力を受けることなく、男女が対等な関係で性と生殖に関する決定を行うことも「権利」とは考えられていませんでした。これは、女性の基本的な人

問い合わせ
糸島市人権政策課
☎(332)2075

権にかかわる問題です。男女共同参画社会の実現のため、私たち一人ひとりがリプロダクティブ・ヘルス／ライツを正しく理解することが必要です。

リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する講演会(下記参照)

性教育に携わってきた講師の体験談をおして、リプロダクティブ・ヘルスの観点から、「性」と「食」について考えてみませんか。

こころコラム

障がいがあるということ 当事者からのメッセージ

人権同和教育広報委員 和田勝宣
(玄海第一育生園施設長)

障がい者スポーツ大会のとき、来賓挨拶で「みなさんは、障がいを持っていてるけれど、どうぞその障がいを乗り越えて…」

すると、会場から、「私たちは障がいはあるけれど、持ちたくて持っているわけではない」という声が響き渡りました。障がいがあるのは、自分の意思によるものではないですね。

私たちの中には、パニックや情緒不安定や反社会的行動を起こす人もいます。みなさん(社会のルール)からすれば「困った人たち」になるでしょう。

でも、私たちの独特の文化や世界からすれば、この社会とうまく適応できず「困っている」状態なのです。

特別支援教育の中で「困り感」という表現も使われるようになりまし。

2006年、国連総会での障害者権利条約の策定過程において「私たちのことを私たちが決めないで Nothing about us without us」という、すべての障がい者にとって共通の思いが採択されました。嬉しいです。

「障がいは個人の問題、治療や指導を受けて克服してください。あなたが変わってください」というのと、「障がいがあっても、日常生活が不自由なのは社会の問題です。変わるべきは、環境と支援です」。さて、あなたは、どちらに賛成?

「障がいがある人を助けてあげたいけれど、自分

も都合があつて…今は「ゴメンね」。障がいのない人たちの心の声が聞こえるような気がします。

聴覚に障がいのある人たちから…手話は言語そのものです。

視覚に障がいのある人たちから…薬の説明書に点字の効能書きを付けてください。

自閉症や発達障がいのある人たちから…私たちが何か困っているようなときには、優しい言葉でゆっくりと話しかけてください。力づくで押さえつけるのは逆効果です。まず、落ち着かせてください。

などなど、当事者の声を少しですが、挙げてみました。障がいのある人も自分の住みたい場所で、幸せに暮らせるように、あなたの支えと応援を少しだけお願いします。

※注「障がい」と「障害」の表記について
筆者の意向により、障害者権利条約のように、法規上の表現はそのまま「障害」と表記し、それ以外は「障がい」で表記しています

「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

みんなの人権110番
全国共通人権相談ダイヤル ☎0570-003-110

全国一斉強化週間の期間中、高齢者や障がい者に対する虐待などの人権問題についてのご相談を、通常の相談時間を延長して、法務局職員と人権擁護委員がお受けいたします。

相談費用は無料、秘密は必ず守ります。生活上の心配事、家庭や地域でのトラブル、嫌がらせなど、悩みや困り事がある方は、どんな些細なことでも構いません。一人で悩まず、ぜひお電話ください。

日時 9月5日(月)～9月11日(日)8時30分～19時
※土・日曜日は、10時～17時

問い合わせ 福岡法務局人権擁護部 ☎(832)4311

展示

笑顔あふれる人権ポスター

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり平等である」とする人権尊重の理念を理解し、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として描かれた『人権ポスター』を展示します。

作品は、糸島市内各小学校より選定された200作品。入選者(3名)には、市長賞・教育長賞・センター長賞として賞状を進呈し、広報いとしま11月15号に掲載予定です。

展示場所・期間 糸島市人権センター2階ロビー
10月1日(土)～11月30日(水)

問い合わせ 糸島市人権センター
☎(322)5095 FAX(322)5096
Eメール Jinken@city.itoshima.lg.jp

第7回 食卓の向こう側 講演会

『性』と『生』と『食』のつながりを考え、生きるとは何か、命とは何かを見つめ直します。

- 日時 9月24日(土)13時30分～
- 講師 内田美智子さん(助産師)
佐藤弘さん
(西日本新聞社編集企画委員会)
- 演題 「食といのちのつながり」
- 場所 健康福祉センター「ふれあい」
(糸島市志摩初1番地)
- 定員 150名
- 参加費 無料
- 託児 無料(6か月～就学前まで、9月20日(火)までに申し込み)

同時開催イベント
●ギターとボーカルによるミニミニコンサート 13時～ 波多江崇行さん他
●展示・ミニバザー 11時～17時30分 男女共同参画センターかがやき

志摩男女共同参画ネットワークは、各種団体・個人が連携して、安心して暮らせる地域づくりなどの活動をしています。

申し込み・問い合わせ 志摩男女共同参画ネットワーク事務局
☎・FAX(327)2539